

既往災害における避難支援状況を通じての 主な課題と論点例

(課題 1)

災害時要援護者や避難支援者に河川の水位、浸水等の状況や避難準備情報、適切な避難先等に関する情報が十分に伝達されていない。

(論点例)

- ・ 各関係機関が災害時要援護者や避難支援者への情報伝達に関して実施できることの整理
- ・ 関係機関間の連携や情報伝達機器の活用による、災害時要援護者等への多様・確実な情報伝達方策の整理
- ・ 災害時の情報をわかりやすく伝達するための基本的な考え方・方策の整理
- ・ 避難支援プランにより平常時から把握し、関係機関等の中で共有しておくべき情報の具体化と整理

(課題 2)

災害時要援護者の避難誘導・移送手段の確保が困難である。避難支援が関係機関等の個々の対応に委ねられており、関係機関等の中の連携方策が具体化していない。

(論点例)

- ・ 多様な態様を踏まえつつ、災害時要援護者が避難行動時に必要とする支援内容の具体化と整理
- ・ 各関係機関又は関係機関間の連携により避難行動時に提供できる支援内容の具体化
- ・ 避難支援プランにより平常時から把握し、関係機関等の中で共有しておくべき情報の具体化と整理
- ・ 災害時要援護者の支援ネットワークの設立など、避難支援に関する問い合わせ先の明確化と連携方策の具体化

(課題 3)

災害時要援護者が態勢・設備の整っていない避難所に避難せざるを得ないため、避難所生活に困難を来している。避難所に避難しない者も多い。

(論点例)

- ・ 多様な態様を踏まえつつ、災害時要援護者が避難後に必要とする支援内容の具体化と整理
- ・ 各関係機関又は関係機関間の連携により避難所において提供できる支援内容の具体化と整理
- ・ 福祉避難所の設置・活用促進や特養等の適切な緊急入所対応に向けた、関係機関間での平常時の取組事項及び災害時の対応方針の具体化と整理
- ・ 避難支援プランにより平常時から把握し、関係機関等の中で共有しておくべき情報の具体化と整理（災害時要援護者による避難所の選択も含む。）